

# 保護者等向け 放デイ自己評価表

0 令和6年 3月18日

放課後等デイサービス TIME

利用者数:27名 回答者数:23名

		項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20	2		1
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	12	2	
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(i)が作成されているか	19	4		
	⑤	活動プログラム(ii)が固定化しないよう工夫されているか	19	4		
	⑥	障害のない子どもと活動する機会があるか	12	9	1	1
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	20	3		
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	4	1	
	⑨	保護者に対して面談や、意向に関する助言等の支援が行われているか	19	4		
	⑩	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	4		
	⑪	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	19	3	1	
	⑫	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	23			
	⑬	個人情報に十分注意しているか	13	9	1	
非常時等の対応	⑭	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13	9	1	
	⑮	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	9	1	
満足度	⑯	子どもは通所を楽しみにしているか	20	3		
	⑰	事業所の支援に満足しているか	22	1		

■ 2年目の今年、利用者の増加への対応として1階の整備と共に、全空調設備の改装など、多くの経費をかけました。バリアフリー対応は、今後も必要はないと考えています。職員は利用者へのサービスの充実を最優先にし、今後も採用していきます。

■ 活動プログラムの充実喫緊の課題です。外部機関の活用や他施設との交流、地域や社会との交流など、利用者の反応や事業所の特色を加味しながら、保護者への負担の軽減を図りながら慎重に進めていくつもりです。

■ 災害時の対応などや利用者や家族などへの説明責任を果たすべく職員間での共通理解を図りながら進めております。行政側からも法改正によるマニュアルや体制づくりなど、きめ細かな指導があり、丁寧な対応と漏れのないきめ細かな安全・安心なサービス提供に今後も努めていきます。

■ 利用者やご家族の方の満足度こそが最重要事項であると考えています。まだまだ未熟な部分が多く、なすべきことも多くあります。引き続き、ご意見をいただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。